



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.17
令和2年11月25日
文責：校長 福島

学校生活のアクセントとしての行事



体育参観ありがとうございました。本来であれば「音楽発表会・ワイワイまつり」を行うはずであった11月21日、コロナ感染対策として運動会中止という苦渋の決断をした時から、この日に体育参観をしたいと思って準備を進めてきました。

当日は朝から子供たちの様子が違いました。いつもよりも早く学校に来る子がたくさんいました。エアタッチする子供の表情も笑顔にあふれていました。「今日はがんばってくださいね。」と声をかけると「はい、がんばります！」と元気いっぱい返事が返ってきました。よく、「遠足や運動会の前日は眠れませんでした。」という話を聞きますが、子供にとってやはり特別なのです。

私たち職員にとっても特別な日です。2週間天気予報ですっと天気を気にし、最高のパフォーマンスを見せられるよう子供たちのモチベーションを高めていきます。そして子供たちの願いをかなえるために当日は朝早くから準備をします。

体育参観に向けて、約1週間ですが子供たちも準備をしてきました。体育の時間を中心に、きびきびと楽しそうに体を動かす子供たちを見てきました。目標があると学校生活にもリズムが生まれ、より生き生きとしたかすがっ子の姿を生み出すことができていました。

「場が人を成長させる」という言葉があります。仲間が集い、多くの方々に応援していただける行事は子供たちにとって特別の場です。「大切にしなければならない」改めて感じた体育参観でした。きっとご家庭でもたくさんほめていただいたことでしょう。子供たちの自信につながったと思います。

コロナ禍にあって、多くの人が集う行事がやりにくい状況はしばらく続いていくと思いますが、やめるのではなくできる方法を考えていきます。